

## 54からの手習い

de JA1RIZ

54才の時、転職を体験。その時のとまどいや体験はなんどか載せていただいた。それまではいわゆる「弱電屋」。正攻法で職探しては見たものの、箸にも棒にも引っ掛からなかった。在職中に法令の変わり目の暫定措置という網にぶら下がって「頂いた」電気工事士の資格のお陰で現在のビルメンの職を得る事ができた。

しかし、この業界はどちらかと言うと「強電」の世界。電気主任技術者（電験）や建築物衛生管理技術者（ビル管）の資格がドーンと据わっている世界。それではと、十一年に夢に見た電験3種（当時は確か電検=電気主任技術者検定試験だった？）を受けることを決意。1年目は1科目合格。2年目で3科目合格し、完全合格することができた。難しい、自分には取れないのではないかと、思っていたが、まぐれではあったが受かってしまったので、それではその上の2種に挑戦しよう…ということになった。

この資格だけは何とか合格したいと、年一の国家試験の為に数年<sup>2</sup>を費やすも、今だラチがあかない。一次試験の1年目は3科目合格。2年目には残り科目を取って一次合格で二次試験に臨んだが歯が立たず撃沈。3年目の二次2回目も勝負にならず。4年目、また振り出しに戻り、一次試験は幸運にも一発でパスしたが、二次試験は惜しくも（自分ではそう思うが、客観的にはかなり水が空いていた…か。）不合格。……というような近況で現在にいたっております。アツという間の6年が経過してしまいました。

歳を考えれば、『何を今更…』と思われるかもしれない事態ではある。Hi hi

しかし、世の中にはモットもっとスゴイ人もいるのである。このような人がいる限り、50歳を越えてからでも希望はあるのだ…！といえるのであります。

この歳になってからも活躍した著名人に、1800年台に正確な地図を作成した伊能忠敬がいる。

49歳：家督を長男に譲り隠居

50歳：江戸に出て高橋至時<sup>よしとき</sup>（天文学者）に弟子入り

55歳：東北・北海道測量

56歳：関東・東北測量

57歳：東北測量

58歳：東北・北陸測量

59歳：日本東半部沿海地図を幕府に提出

60～61歳：畿内、・中国測量

63～64歳：四国測量

64～66歳：九州測量

66～69歳：九州測量

70～71歳：伊豆七島測量（不参加）

71歳：江戸府内測量

\*以上「伊能忠敬記念館」HPより抜粋

諸説ありますが、平均年齢50歳位という江戸時代であって、当時では「隠居」となる年令から奮起の末、偉大な足跡を残したその気力と努力には驚きを感じる。

自分が、目指す試験は、二種：年度合格者数450人（合格率：4.7%）と超難関ではある。（10年間平均）

だが、受かった人は「誰でも勉強を続ければ合格できる。」と言う。その言葉を信じてただ邁進するのみである。

以上